

東三河には四季折々の魅力がいっぱい!



東三河観光情報紙
**とよはし
ほの国**
2・0・2・1 秋 Autumn

豊橋発。季節ごとにほの国東三河の「今」をお届けするガイドブック!
東三河紅葉巡り 豊橋まちあるき 葦毛湿原散策!



発行 **一般社団法人豊橋観光コンベンション協会** **ほの国**
TEL0532-54-1484 http://www.honokuni.or.jp/toyohashi
〒440-0075愛知県豊橋市花田町石塚42-1[豊橋商工会議所8F]
協力/愛知県東三河広域観光協議会

設楽町 ウォーキングやバードウォッチングにも最適!



**3 段戸裏谷原生林
きららの森**

標高900mの高地にある段戸裏谷原生林。樹齢200年の巨木が生い茂る天然ブナの原生林は、多くの野鳥や湿原植物が見られる自然の宝庫。例年では10月下旬から11月の第1週位までの10日間程が紅葉の見頃に。

ガイドウォーク!

奥三河ふるさとガイドの案内で原生林を散策。■要予約・有料/ガイド1名につき3,000円(3時間まで) ■予約先/設楽町観光協会 TEL.0536-62-1000

■設楽町田峯字段戸1番地1

万葉集にもその名が登場する紅葉の名所
7 宮路山

標高362mの小高い宮路山。山には数千本のコアブラツジが自生しており、例年では11月下旬～12月上旬に山肌が真紅に染まります。山頂からは三河湾や豊川市街が一望でき、お天気の良い日は富士山も望めます。
■豊川市赤坂町宮路地内

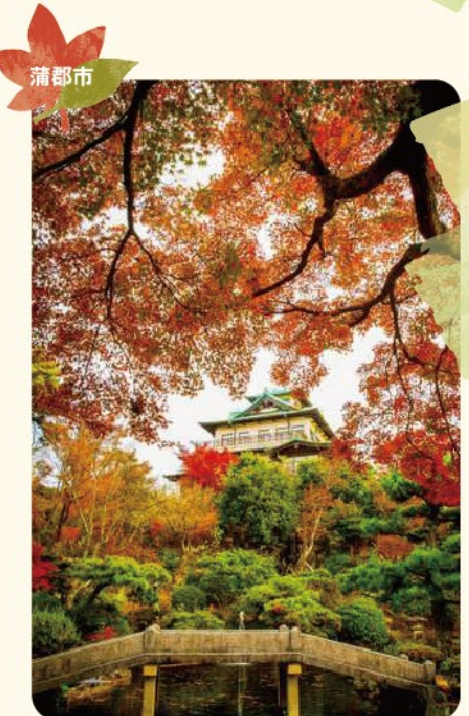


その姿はまるで黄金に輝く打ち出の小づち!

6 大和の大いちよう

豊津町、大和保育園の裏手にある大いちよう。高さ約25m、水平方向に張り出す枝は10m以上。例年では11月下旬～12月上旬頃に黄色く色づき、圧倒的な存在感。遠目には、打ち出の小づちの様にも見えます。
■豊川市豊津町割田53-1

ライトアップ(予定)
大和の大いちようが黄色に色づく頃に、大いちようや周辺のちびっこ広場を幻想的なライトアップを予定しています。これに合わせて秋の収穫に感謝する飲食や物産の出展も計画中です。



格調高い建物に映える紅葉はまるで絵画のよう。

**8 蒲郡
クラシックホテル**

三河湾国定公園の中心に位置する城郭風建築のクラシックホテル。1万坪の敷地にある庭園はつつじの名所として有名ですが、秋の紅葉もまた見事。趣ある外観に鮮やかな赤が映え、一幅の絵になる景色が楽しめます。
■蒲郡市竹島町15-1



東三河 **紅葉巡り**

秋ならではの楽しみ「紅葉狩り」。豊かな自然に囲まれた東三河には数々の紅葉の名所がありますが、今回はその中から十一箇所をご紹介します。ゴミの持ち帰りなどマナーを守ってお楽しみください。



恐竜時代の
終わり頃出現した
針葉樹の紅葉。
10 のんほいパーク

“のんほい”の愛称で親しまれる豊橋総合動植物公園。広大な敷地の中でも見どころは中央門から温室に続く、約120本の針葉樹メタセコイアが植えられたメイン通路の並木道。展望台からの一望もインスタ映えする絶好ポイントです。
■豊橋市大岩町字大穴1-238

オータム&ハロウィンイベント
10/9(土)～11/23(祝)
動物のふれあいやラリーイベントを開催します。秋のバラやフジバカマ、モミジ、カエデなど植物園もお楽しみください。

県内のどこよりも紅葉が早い“愛知のてっぺん”。

1 茶白山高原

標高1415m。愛知県の最高峰を誇る茶白山は、県下で最も早くカエデやブナが色づく場所。例年では10月上旬頃から徐々に葉が色づき始め、ピークは10月下旬頃。観光リフトに乗って、麓の紅葉を見下ろすのもおすすめ!
■北設楽郡豊根村坂宇場字御所平70-185

秋の茶白山高原まつり
9/18(土)～11/7(日)
●紅葉のライトアップ
10/9(土)～11/7(日)の土日祝日
●名物のいも煮会
10/10(日)
2mの大鍋で作るほくほくの里芋を使った芋煮を茶白山高原の紅葉にあわせ、ぜひどうぞ。



おいしい郷土料理に舌鼓を打ちながら紅葉狩り。
道の駅 豊根

2 グリーンポート宮嶋

茶白山高原にほど近い国道151号線沿いに位置する道の駅。豊根村の清らかな天然水で育ったチョウザメの料理や、特産品を使った料理が食べられるレストランからは、清流の流れに映えるモミジが一望できます。
■北設楽郡豊根村坂宇場字宮ノ嶋29-3

秋穫感謝祭

11/6(土)7(日)
おたまたげ市場では旬の野菜をはじめその他おもしろい商品を集めます。



どうい温泉花まつりの湯

全国でも数少ない療養泉に分類されている「どうい温泉」は、湯量が豊富で野天風呂には掛け流し風呂もあり、多くの湯船を楽しんでいただけます。

美しい清流に鮮やかな紅葉が映える景勝地。
4 鳶の淵

川底に岩盤が多く穏やかな流れがあり、香り良い鮎を育む川として知られる振草川(ふりくさがわ)。この川の「奥三河のナイアガラ」と呼ばれる大滝が鳶の淵です。鮮やかに色づく紅葉とのコントラストが見事です。
■北設楽郡東栄町大字下田付近

石段を上ると広がる紅葉に息を呑む。

5 鳳来寺山

山全体が国の名勝・天然記念物に指定されている自然の宝庫。麓の表参道から、鳳来寺本堂への道中は、モミジ、カエデ、イチヨウなどで美しく彩られ、その鮮やかさとコントラストは圧巻!
■新城市門谷字鳳来寺



「良い世継ぎを」の折願で授かった家康公。

子宝に恵まれなかった徳川家康の父松平広忠と母於大の方(おだいのかた)が鳳来寺のお薬師様に熱心に祈願し、その願いが叶って授かったのが家康公。この逸話を聞いた徳川家光により東照宮が建立されました。

切り絵御朱印

参拝後に切り絵御朱印を押さえることも有名。切り絵御朱印を紅葉に透かして撮影する「透かし撮り」がオススメ。先代住職が手切りしているので毎月枚数限定です。

“豊橋のもみじ寺”の愛称で親しまれる名スポット。

9 普門寺

開山から1300年、国重要文化財など多数の文化財を所有する普門寺は、県内で最も遅くまで紅葉を楽しめる場所として人気です。特に、仁王門裏にある“名残もみじ”は、境内で一番遅くに色づき、12月中旬頃まで楽しめます。
■豊橋市豊谷町ナベ山下7番地

